

議会第8号

議案提出書

件名 国民健康保険の国庫負担拡大と子どもに係る均等割保険料の軽減措置を求める意見書（案）

上記の議案を別紙のとおり、長野市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

平成31年3月22日

長野市議会議長 小林治晴様

提出者 長野市議会 福祉環境委員会
委員長 手塚秀樹

国民健康保険の国庫負担拡大と子どもに係る均等割保険料の軽減措置を求める意見書
(案)

国民健康保険は、被保険者の高齢化や世帯の所得が低下している一方で、1人当たり医療費は増加しており、財政は危機的状況となっています。国民健康保険財政を安定化させるためには、国による更なる財政支援が必要です。

また、国民健康保険における保険料は、所得等による応能割額と、世帯やその被保険者数による応益割額とにより算定されています。この応益割額において、世帯の被保険者数1人ごとに均等割額が賦課され、子どもが増えるごとに世帯の負担が増えます。この仕組みは被用者保険にはないもので、少子化対策の観点から、子育て世帯の負担軽減を図る必要があります。

よって、下記の事項を実現するよう要請し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

記

- 1 国民健康保険の財政運営を安定的に行うために、国庫負担割合の引上げにより、更なる国保財政の基盤強化を図ること。
- 2 子育て世帯の負担軽減を図るため、国の責任と負担において、子どもに係る均等割保険料を軽減する支援制度を創設すること。

平成31年3月25日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣宛
財務大臣
厚生労働大臣

長野市議会議長 小林治晴